

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年11月28日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	互興運輸株式会社
所在地	横浜市中区海岸通4-23 原田ビル3階
代表者役職・氏名	代表取締役社長 徳橋 三郎
担当者連絡先	電話：045-212-3381
	メール：tak.iida@gokoh.com
ウェブサイトURL	http://www.gokoh.com

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は昭和25年3月に創業しました港湾運送事業者であり、横浜・東京・千葉の港湾を中心に海貨業・一般港湾運送事業・一般貨物自動車運送事業・通関業・倉庫業等を営んでおります。</p>
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	業務のデジタル化を進め、データを効率的に・共有化していくなど、社内でDX化の手法を取り入れることで生産性の向上を計り時間外労働を改善します。	時間外労働時間の短縮 現行：24.17時間/月/人 目標：22時間/月/人
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	コピー・プリントの枚数の削減に取り組む	目標：コピー用紙20%の削減
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済		

(次項へ続く)

## SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	企業行動規範の中で人権を尊重すると定めており、総務部を中心に全社にルール・情報の提供、相談窓口となって取り組んでいます					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	月毎に社員一人一人の労働時間を集計しており、過度な労働時間となった社員については、部門長より業務の内容と改善策を聴取し、改善する取組みを行っています								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	定期的にヒアリングしながら本人に確認しています				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	作業現場では、早朝と午後の二回で業務内容・注意事項の指示共有を行い、また危険予知活動報告により課員の注意意識を高める活動を行っています 安全衛生委員会では、年4回職場を視察して問題点があれば指摘しています。				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる					3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう、時差通勤、テレワーク、フレックス勤務や適切な職場への人員配置に取り組んでいます					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	現場においては、フォークリフトやクレーンといった講習への参加、事務職においては通関士や国際複合輸送士の講座参加を行っています				4	5.5			8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	年に2回、上司・部門長による評価を実施しています					5.5			8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	倉庫作業員に対して熱中症対策として、電動ファン付ジャケットを支給して夏場の生産性を維持・向上させる取組みを行っています				3				8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	廃棄物の分別回収による資源管理や梱包材の再利用等3Rの推進に取り組んでいます										11.6	12.4 12.5	14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	照明器具のLED化や適切な使用、フォークリフト・トラック・業務用車両の消費燃料と走行距離・稼働時間の把握、消費効率の向上に取り組んでいます							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	コピー枚数の削減・燃料消費率・電力使用率を数値化することで温室効果ガスの排出量の抑制に取り組んでいます							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	定期的に自社倉庫の外周で実施している清掃活動を照会しています											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	取り扱う貨物では、施設の安全確認・入庫時の外装確認・入退出者の管理などを、事務処理では処理の手順をマニュアル化することで製品・サービスの安全制を確保する取組みを行っています			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	AEOの認定・承認により、適正な貨物保管、適切な通関業務を行うための手順を定め、実施状況を内部監査することでサービスの品質向上に努めています									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	税関が認定・承認したAEO業者としてセキュリティー対策の中で輸出入者の評価、貨物の取扱い手順の中で不審の気づき、社会悪に結びつく改造・不正混入の無いことを確認する取組みを行っています	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4						9	11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	社会奉仕団体へ所属し、その趣旨に沿った取組みを行っています。また毎年、12月に横浜市市役所を通じて色鉛筆を施設に寄付する活動を継続して行っています				4						11			14	15		17	



(様式第4号)

令和6年1月29日

## SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 横浜市中区海岸通 4-23

名称： 互興運輸株式会社

代表者： 徳橋三郎

登録年月日： 令和4年12月23日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	業務のデジタル化を進め、データを効率的に・共有化していくなど、社内でDX化の手法を取り入れることで生産性の向上を計り時間外労働を改善します。	時間外労働時間の短縮 現行:24.17時間/月/人 目標:22時間/月/人	2022年 35名平均 25.457 2023年 37名平均 22.951
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	コピー・プリントの枚数の削減に取り組む	目標:コピー用紙 20%の削減	運用の見直しにより通関部門において月間3,000枚を削減で4.174%減
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済			